

シラバス

令和7年度		1 学年		数学A
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解する。 ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力を養う。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 			
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。 ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度を養う。 			
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.1 数字の種類 ・No.2 位の値 ・4月の内容の確認テスト 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な四則計算の方法を身につけ、正しく計算することができる。(知識・技能) ・グループワークで考えをまとめ、発表する。(思考力・表現力・人間性の涵養) ・数字にはいろいろな種類があることを知る。(知識) ・日常生活で数字が使われている場面を考える。(思考力) ・数字が表す大きさは、その数字を書く位置によって決まることを知る。(判断力) 	①A 数と計算 イ(イ) ア数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすこと。(No.1) イ(ア) アある数の10倍、100倍、1000倍、10分の1、100分の1などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくること。(No.2) [数学的活動] ア(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動(No.1、2)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.3 数や量の比較(等号、不等号) ・No.4 正負の数 ・No.5 およその数 ・No.6 四捨五入 ・No.7 約数・公約数 ・No.8 倍数・公倍数 ・No.9 素数 ・4月から5月までの内容の確認テスト 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・数や量を比べるときに使用する言葉や記号について知る。(知識、判断力) ・正の数、負の数の意味や、足し算と引き算の決まりを知る。(知識、技能、表現力) ・日常生活でだいたいの数が分かれば十分である場合を考える。(思考力) ・およその数の出し方を知る。(知識、思考力) ・数を切り上げる、切り捨てるときの約束を知り、買い物をするときにお金が足りるかどうが見積もることができる。(知識、技能、判断力) ・四捨五入の方法を知る。(知識、技能) ・約数や公約数の意味や求め方を知る。(知識、技能) ・倍数や公倍数の意味や求め方を知る。(知識、技能) ・数は素数である数と素数ではない数に分けられることを知る。(知識) ・素数の見つけ方を知る。(技能、判断力) 	①A 数と計算 イ(イ) ア数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすこと。(No.4) ウ(ア) ア概数が用いられる場面について知ること。(No.5) ウ(ア) イ四捨五入について知ること。(No.6) ウ(ア) ウ目的に応じて四則計算の見積もりをすること。(No.6) [数学的活動] ア(ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.4、5、6、7) ア(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動(No.3) ②A 数と計算 ア(ア) ア整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを理解すること。(No.9) ア(ア) イ約数、倍数について理解すること。(No.7、8、9、10) イ(イ) ア数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察すること。(No.3) [数学的活動] ア(ウ) 問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動(No.8、9)

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.10 素因数 ・No.11 平方数 ・No.12 平方根 ・6月の内容の確認テスト 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・数は素数をかけ合わせてで きることを知る。(知識) ・素因数の見つけ方を知る。 (技能、判断力) ・平方数や平方根の言葉の意 味や、特別な記号を知る。(知 識) ・平方数の表の使い方を知 る。(技能、判断力) 	<p>①A数と計算 〔数学的活動〕</p> <p>ア(ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.11、12)</p> <p>ア(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動(No.11、12)</p> <p>②A数と計算</p> <p>ア(ア) ア整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを理解すること。(No.10)</p> <p>ア(ア) イ約数、倍数について理解すること。(No.10)</p> <p>オ(イ) ア問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。(No.11、12)</p> <p>〔数学的活動〕</p> <p>ア(ウ) 問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動(No.10)</p>
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.13 分数 ・No.14 仮分数・帯分数 ・No.15 同値分数 ・No.16 約分・分数が表す 大きさ ・No.17 分数の足し算・引 き算 ・7月の内容の確認テスト 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・分数は物を平等に分けると きや、全体の一部を表すとき、 グループの一部を表すときに 便利であることを知る。(知識、表現力) ・一部分の数が全体よりも大 きいことを表したいときは、 仮分数や帯分数で表すことを 知る。(知識、表現力) ・仮分数を帯分数に直す方法 や、帯分数を仮分数に直す方 法を知る。(知識、表現力) ・同じ分数でも、違う書き方 ができることを知る。(知識) ・同値分数の作り方を知る。 (表現力) ・分数を簡単にする方法を知 る。(知識) ・分数が表している大きさの 求め方を知る。(技能、思考力) ・分数の足し算や引き算の方 法を知る。(知識、技能) 	<p>①A数と計算</p> <p>ケ(ア) ア等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解すること。また、分数の表し方について知ること。(No.13)</p> <p>ケ(ア) イ分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知ること。(No.14)</p> <p>ケ(ア) ウ簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知ること。(No.17)</p> <p>ケ(ア) エ簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ること。(No.15)</p> <p>ケ(ア) オ同分母の分数の加法及び減法の計算ができること。(No.17)</p> <p>〔数学的活動〕</p> <p>ア(ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.13、14、15、16)</p> <p>ア(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動(No.13、14、15、16、17)</p> <p>②A数と計算</p> <p>イ(イ) ア数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察すること。(No.15)</p> <p>イ(ア) ア整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。(No.16)</p> <p>イ(ア) ウ一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解すること。(No.16)</p> <p>ウ(ア) ア異分母の分数の加法及び減法の計算ができること。(No.17)</p>

9月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.18 分数の掛け算・割り算 ・No.19 小数と分数の変換 ・No.20 小数の足し算・引き算 ・No.21 割引・百分率 ・9月の内容の確認テスト 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・数は整数と分数からできていることを知る。(知識) ・分数を小数に直したり、小数を比べたり順番に並べたりする方法を知る。(技能、判断力) ・分数の掛け算や割り算の方法を知る。(知識、技能) ・小数の足し算や引き算の方法を知る。(知識、技能) ・百分率を知り、数の百分率の求め方を知る。(知識、技能) 	<p>①A 数と計算</p> <p>キ (ア) イ 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めること。(No.19)</p> <p>キ (ア) ウ 小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができること。(No.20)</p> <p>①C 変化と関係</p> <p>ウ (ア) イ 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。(No.21)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.21)</p> <p>ア (イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動(No.18、19、20)</p> <p>②A 数と計算</p> <p>エ (ア) ア 乗数や除数が整数や分数である場合も含めて、分数の乗法及び除法の意味について理解すること。(No.18)</p> <p>エ (ア) イ 分数の乗法及び除法の計算ができること。(No.18)</p> <p>イ (ア) ア 整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。(No.19)</p>
----	---	---	---	---

後期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。 ・図形について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度を養う。 			
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.22 比・割合 1 ・No.22 比・割合 2 ・10月の内容の確認テスト 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な四則計算の方法を身につけ、正しく計算することができる。(知識・技能) ・グループワークで考えをまとめ、発表する。(思考力・表現力・人間性の涵養) ・比や割合の意味を知る。(知識) 	<p>①C 変化と関係</p> <p>ア (ア) ア 簡単な場合について、比例の関係があることを知ること。(No.22)</p> <p>ア (イ) ア 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。(No.22)</p> <p>ウ (ア) ア ある二つの数量と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること。(No.22)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.22)</p> <p>②C 変化と関係</p> <p>イ (ア) ア 比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすること。(No.22)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア (ウ) 問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動(No.22)</p>

11月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.22 比・割合 3 ・No.23 電卓 ・No.24 縮小・拡大 ・No.25 10 をかける計算 わる計算 ・No.26 長さ ・11月の内容の確認テスト 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・割合を分数、小数、百分率で表すことができる。(技能、思考力) ・分数で比を表す方法を知る。(技能、思考力) ・電卓の使い方を知る。(知識、技能) ・縮小や拡大の意味を知る。(知識) ・地図を使って実際の距離を求めたり、レシピを見て人数分の材料を計算したりすることができる。(思考力、判断力) ・10倍、100倍、10分の1などの大きさの表し方を知る。(知識) ・長さの意味を知る。(知識) ・長さの単位の変換方法や計算方法を知る。(知識、技能、思考力) <p>① A 数と計算 ア (ア) イ 10 倍、100 倍、1000 倍、10 分の 1 の大きさの数及びその表し方の理解を深めること。(No.25) イ (ア) アある数の 10 倍、100 倍、1000 倍、10 分の 1、100 分の 1 などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくること。(No.25) ウ (イ) ア日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。(No.23) B 図形 ウ (イ) ア平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。(No.26) C 変化と関係 ウ (ア) アある二つの数量と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること。(No.22) 〔数学的活動〕 ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.22、23、24、25、26) B 図形 ア (ア) ア縮図や拡大図について理解すること。(No.24) C 変化と関係 イ (ア) ア比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすること。(No.22) 〔数学的活動〕 ア (ウ) 問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動(No.22、24)</p>
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.27 周りの長さ ・No.28 面積 ・No.29 三角形・平行四辺形の面積 ・No.30 複雑な形の面積 ・No.31 面積と周りの長さ ・12月の内容の確認テスト 	6	<p>①図形 ア (イ) イ図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて説明したりすること。(No.27、31) エ (ア) ア三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解すること。(No.29) 〔数学的活動〕 ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.27、28、29) ②B 図形 イ (ア) ア身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めること。(No.28) イ (イ) ア図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かすこと。(No.30) 〔数学的活動〕 ア (ア) 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動(No.30、31)</p>

1月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.32 容積 ・No.33 体積 ・No.34 横線・縦線 ・1月の内容の確認テスト 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・水筒などの入れ物に入る最大量を、その入れ物の容積だということを知る。(知識、技能、思考力) ・体積の意味を知る。(知識) ・いろいろな単位の混ざった計算を簡単にする方法を知る。(知識、技能) ・線の意味を知り、直線と曲線があることを知る。(知識) ・横線や縦線の意味を知る。(知識) ・地図を見て、最短距離で行く道を考える。(知識、思考力) 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.35 斜線 ・No.36 平行線 ・No.37 垂線 ・2月の内容の確認テスト 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・斜線や対角線の意味を知る。(知識) ・平行線の意味を知り、平行線を表す記号を知る。(知識) ・垂線の意味を知り、直角を表す記号を知る。(知識、思考力) 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.38 多角形 ・No.39 多角形2 ・No.40 円 ・3月の内容の確認テスト 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形、三角形、四角形の種類や特徴を知る。(知識) ・多角形の対角線を描くことができる。(思考力、表現力) ・コンパスの使い方を知り、円を描くことができる。(知識、技能) 	
年間予定時数		62		

シラバス

令和7年度		1 学年		数学B	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解する。 ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力を養う。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 				
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。 ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度を養う。 				
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.1 数字の種類 ・No.2 位の値 ・4月の内容の確認テスト 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な四則計算の方法を身につけ、正しく計算することができる。(知識・技能) ・グループワークで考えをまとめ、発表する。(思考力・表現力・人間性の涵養) ・数字にはいろいろな種類があることを知る。(知識) ・日常生活で数字が使われている場面を考える。(思考力) ・数字が表す大きさは、その数字を書く位置によって決まることを知る。(判断力) 	<p>①A 数と計算</p> <p>イ(イ)ア数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすこと。(No.1)</p> <p>イ(ア)アある数の10倍、100倍、1000倍、10分の1、100分の1などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくること。(No.2)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(イ)数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動(No.1、2)</p>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.3 数や量の比較(等号、不等号) ・No.4 正負の数 ・No.5 およその数 ・No.6 四捨五入 ・No.7 約数・公約数 ・No.8 倍数・公倍数 ・No.9 素数 ・4月から5月までの内容の確認テスト 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・数や量を比べるときに使用する言葉や記号について知る。(知識、判断力) ・正の数、負の数の意味や、足し算と引き算の決まりを知る。(知識、技能、表現力) ・日常生活でだいたいの数が分かれば十分である場合を考える。(思考力) ・およその数の出し方を知る。(知識、思考力) ・数を切り上げる、切り捨てるときの約束を知り、買い物をするときにお金が足りるかどうか見積もることができる。(知識、技能、判断力) ・四捨五入の方法を知る。(知識、技能) ・約数や公約数の意味や求め方を知る。(知識、技能) ・倍数や公倍数の意味や求め方を知る。(知識、技能) ・数は素数である数と素数ではない数に分けられることを知る。(知識) ・素数の見つけ方を知る。(技能、判断力) 	<p>①A 数と計算</p> <p>イ(イ)ア数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすこと。(No.4)</p> <p>ウ(ア)ア概数が用いられる場面について知ること。(No.5)</p> <p>ウ(ア)イ四捨五入について知ること。(No.6)</p> <p>ウ(ア)ウ目的に応じて四則計算の見積もりをすること。(No.6)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ア)日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.4、5、6、7)</p> <p>ア(イ)数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動(No.3)</p> <p>②A 数と計算</p> <p>ア(ア)ア整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを理解すること。(No.9)</p> <p>ア(ア)イ約数、倍数について理解すること。(No.7、8、9、10)</p> <p>イ(イ)ア数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察すること。(No.3)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ウ)問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動(No.8、9)</p>	

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.10 素因数 ・No.11 平方数 ・No.12 平方根 ・6月の内容の確認テスト 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・数は素数をかけ合わせてできることを知る。(知識) ・素因数のを見つけ方を知る。(技能、判断力) ・平方数や平方根の言葉の意味や、特別な記号を知る。(知識) ・平方数の表の使い方を知る。(技能、判断力) 	<p>①A数と計算 〔数学的活動〕</p> <p>ア(ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.11、12)</p> <p>ア(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動(No.11、12)</p> <p>②A数と計算</p> <p>ア(ア) ア整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを理解すること。(No.10)</p> <p>ア(ア) イ約数、倍数について理解すること。(No.10)</p> <p>オ(イ) ア問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。(No.11、12)</p> <p>〔数学的活動〕</p> <p>ア(ウ) 問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動(No.10)</p>
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.13 分数 ・No.14 仮分数・帯分数 ・No.15 同値分数 ・No.16 約分・分数が表す大きさ ・No.17 分数の足し算・引き算 ・7月の内容の確認テスト 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・分数は物を平等に分けるときの、全体の一部を表すとき、グループの一部を表すときに便利であることを知る。(知識、表現力) ・一部分の数が全体よりも大きいことを表したいときは、仮分数や帯分数で表すことを知る。(知識、表現力) ・仮分数を帯分数に直す方法や、帯分数を仮分数に直す方法を知る。(知識、表現力) ・同じ分数でも、違う書き方ができることを知る。(知識) ・同値分数の作り方を知る。(表現力) ・分数を簡単にする方法を知る。(知識) ・分数が表している大きさの求め方を知る。(技能、思考力) ・分数の足し算や引き算の方法を知る。(知識、技能) 	<p>①A数と計算</p> <p>ケ(ア) ア等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解すること。また、分数の表し方について知ること。(No.13)</p> <p>ケ(ア) イ分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知る。(No.14)</p> <p>ケ(ア) ウ簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知る。(No.17)</p> <p>ケ(ア) エ簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知る。(No.15)</p> <p>ケ(ア) オ同分母の分数の加法及び減法の計算ができること。(No.17)</p> <p>〔数学的活動〕</p> <p>ア(ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.13、14、15、16)</p> <p>ア(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動(No.13、14、15、16、17)</p> <p>②A数と計算</p> <p>イ(イ) ア数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察すること。(No.15)</p> <p>イ(ア) ア整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。(No.16)</p> <p>イ(ア) ウ一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解すること。(No.16)</p> <p>ウ(ア) ア異分母の分数の加法及び減法の計算ができること。(No.17)</p>

9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.18 分数の掛け算・割り算 ・No.19 小数と分数の変換 ・No.20 小数の足し算・引き算 ・No.21 割引・百分率 ・9月の内容の確認テスト 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・数は整数と分数からできていることを知る。(知識) ・分数を小数に直したり、小数を比べたり順番に並べたりする方法を知る。(技能、判断力) ・分数の掛け算や割り算の方法を知る。(知識、技能) ・小数の足し算や引き算の方法を知る。(知識、技能) ・百分率を知り、数の百分率の求め方を知る。(知識、技能) 	<p>①A 数と計算</p> <p>キ(ア) イ小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めること。(No.19)</p> <p>キ(ア) ウ小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができること。(No.20)</p> <p>①C 変化と関係</p> <p>ウ(ア) イ百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。(No.21)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.21)</p> <p>ア(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動(No.18、19、20)</p> <p>②A 数と計算</p> <p>エ(ア) ア乗数や除数が整数や分数である場合も含めて、分数の乗法及び除法の意味について理解すること。(No.18)</p> <p>エ(ア) イ分数の乗法及び除法の計算ができること。(No.18)</p> <p>イ(ア) ア整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。(No.19)</p>
--------	---	---	---	---

後 期 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。 ・図形について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度を養う。 			
月	後 期 学 習 内 容	時 数	キ ャ リ ア 教 育 の 視 点	学 習 指 導 要 領 の 目 標 ①は第1段階 ②は第2段階
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.22 比・割合 1 ・No.22 比・割合 2 ・10月の内容の確認テスト 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な四則計算の方法を身につけ、正しく計算することができる。(知識・技能) ・グループワークで考えをまとめ、発表する。(思考力・表現力・人間性の涵養) ・比や割合の意味を知る。(知識) 	<p>①C 変化と関係</p> <p>ア(ア) ア簡単な場合について、比例の関係があることを知ること。(No.22)</p> <p>ア(イ) ア伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。(No.22)</p> <p>ウ(ア) アある二つの数量と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること。(No.22)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.22)</p> <p>②C 変化と関係</p> <p>イ(ア) ア比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすること。(No.22)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ウ) 問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動(No.22)</p>

11月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.22 比・割合 3 ・No.23 電卓 ・No.24 縮小・拡大 ・No.25 10 をかける計算 わる計算 ・No.26 長さ ・11月の内容の確認テスト 	7 <ul style="list-style-type: none"> ・周りの長さの求め方を知り、長さの分からない辺がある場合の求め方を知る。(思考力) ・広さ(面積)の求め方を知り、およその面積を求めることができる。(知識、思考力、表現力) ・三角形、平行四辺形の面積の求め方を知る。(技能、思考力) ・複雑な形の面積の求め方を知る。(思考力) ・面積は同じでも周りの長さが違う場合があることを知る。(知識、判断力) ・周りの長さが同じでも面積が違う場合があることを知る。(知識、判断力) 	①図形 ア(イ) イ図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて説明したりすること。(No.27、31) エ(ア) ア三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解すること。(No.29) 〔数学的活動〕 ア(ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.27、28、29) ②B図形 イ(ア) ア身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めること。(No.28) イ(イ) ア図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かすこと。(No.30) 〔数学的活動〕 ア(ア) 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動(No.30、31)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.27 周りの長さ ・No.28 面積 ・No.29 三角形・平行四辺形の面積 ・No.30 複雑な形の面積 ・No.31 面積と周りの長さ ・12月の内容の確認テスト 	6 <ul style="list-style-type: none"> ・周りの長さの求め方を知り、長さの分からない辺がある場合の求め方を知る。(思考力) ・広さ(面積)の求め方を知り、およその面積を求めることができる。(知識、思考力、表現力) ・三角形、平行四辺形の面積の求め方を知る。(技能、思考力) ・複雑な形の面積の求め方を知る。(思考力) ・面積は同じでも周りの長さが違う場合があることを知る。(知識、判断力) ・周りの長さが同じでも面積が違う場合があることを知る。(知識、判断力) 	①図形 ア(イ) イ図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて説明したりすること。(No.27、31) エ(ア) ア三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解すること。(No.29) 〔数学的活動〕 ア(ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.27、28、29) ②B図形 イ(ア) ア身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めること。(No.28) イ(イ) ア図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かすこと。(No.30) 〔数学的活動〕 ア(ア) 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動(No.30、31)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.32 容積 ・No.33 体積 ・No.34 横線・縦線 ・1月の内容の確認テスト 	4 <ul style="list-style-type: none"> ・水筒などの入れ物に入る最大量を、その入れ物の容積だということを知る。(知識、技能、思考力) ・体積の意味を知る。(知識) ・いろいろな単位の混ざった計算を簡単にする方法を知る。(知識、技能) ・線の意味を知り、直線と曲線があることを知る。(知識) ・横線や縦線の意味を知る。(知識) ・地図を見て、最短距離で行く道を考える。(知識、思考力) 	①B図形 ウ(ア) アものの位置の表し方について理解すること。(No.34) ②B図形 エ(ア) ア体積の単位(立法センチメートル、立法メートル)について理解すること。(No.32、33) エ(イ) ア体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えると同時に、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。(No.32、33) 〔数学的活動〕 ア(ア) 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動(No.32、33、34)

2月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.35 斜線 ・No.36 平行線 ・No.37 垂線 ・2月の内容の確認テスト 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・斜線や対角線の意味を知る。(知識) ・平行線の意味を知り、平行線を表す記号を知る。(知識) ・垂線の意味を知り、直角を表す記号を知る。(知識、思考力) 	<p>①B 図形</p> <p>ア (イ) ア図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。(No.35)</p> <p>イ (ア) イ直方体に関して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解すること。(No.36、37)</p> <p>〔数学的活動〕</p> <p>ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.35、36、37)</p>
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・基礎計算テスト ・No.38 多角形 ・No.39 多角形 2 ・No.40 円 ・3月の内容の確認テスト 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形、三角形、四角形の種類や特徴を知る。(知識) ・多角形の対角線を描くことができる。(思考力、表現力) ・コンパスの使い方を知り、円を描くことができる。(知識、技能) 	<p>①B 図形</p> <p>ア (ア) ア平行四辺形、ひし形、台形について知ること。(No.38)</p> <p>ア (ア) イ図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解すること。(No.38)</p> <p>ア (ア) ウ三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。(No.38、39)</p> <p>ア (オ) 円周率の意味について理解し、それをを用いること。(No.40)</p> <p>②B 図形</p> <p>ア (ア) エ円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ること。(No.39)</p> <p>〔数学的活動〕</p> <p>ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.38、39、40)</p>
年間予定時数		62		

シラバス

令和7年度		2 学年		数学A
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数量やグラフなどについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解する。 ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力を養う。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 			
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。 ・数量について粘り強く表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 			
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・実力テストの解答と解説 ・No.35 斜線 ・4月の内容の確認テスト 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な四則計算の方法を理解し筆算ができる(知識、技能) ・重量と質量について知る(知識) ・斜線や対角線の意味を知る。(知識) ・平行線の意味を知り、平行線を表す記号を知る。(知識) ・垂線の意味を知り、直角を表す記号を知る。(知識、思考力) 	①B 図形 ア (イ) ア図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。(No.35) [数学的活動] ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.35、36、37)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎計算テスト ・No.36 平行線 ・No.37 垂線 ・No.38 多角形 ・No.39 多角形2 ・No.40 円 ・No.1 重量と質量 ・No.2 質量の計算・四則計算 ・5月の内容の確認テスト 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形、三角形、四角形の種類や特徴を知る。(知識) ・多角形の対角線を描くことができる。(思考力、表現力) ・コンパスの使い方を知り、円を描くことができる。(知識、技能) ・基本的な四則計算の方法を理解し筆算や速さの計算ができる(知識、技能) 	①B 図形 イ (ア) イ直方体に関して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解すること。(No.36、37) [数学的活動] ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.36、37) ア (ア) ア平行四辺形、ひし形、台形について知ること。(No.38) ア (ア) イ図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解すること。(No.38) ア (ア) ウ三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。(No.38、39) ア (オ) 円周率の意味について理解し、それをを用いること。(No.40) ②B 図形 ア (ア) エ円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ること。(No.39) [数学的活動] ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.38、39、40)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.3 温度 ・No.4 温度の計算 ・No.5 時間 ・No.6 年、月、週、日 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な四則計算の方法を理解し筆算や速さの計算ができる(知識、技能) 	①A 数と計算 エ (ア) イ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(No.4) ②A 数と計算 ア (イ) ア 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No.4)

7月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.7 時間の計算 ・No.8 速さの計算 ・No.9 速さの計算2 ・No.10 身の回りの数字 ・No.11 四則計算の使い方 ・No.12 計算の順番 ・No.13 計算のきまり ・確認テスト ・確認テストの解答と解説 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な四則計算の方法を理解し筆算ができる(知識、技能) ・計算の工夫を知っておくと、便利であることを知る(知識、技能、判断力) 	<p>①A 数と計算 エ (ア) イ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(No.7) (No.8) (No.9)</p> <p>サ (ア) ア 四則に関して成り立つ性質についての理解を深めること。(No.11)</p> <p>②A 数と計算 ア (イ) ア 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No.8) (No.9) (No.11)</p> <p>①A 数と計算 コ (ア) ア 四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算すること。(No.12)</p> <p>②A 数と計算 ア (イ) ア 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No.7) (No.12)</p>
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.11 四則計算の使い方 ・No.12 計算の順番 ・No.13 計算のきまり ・No.14 足し算の筆算 ・No.15 足し算の工夫 ・No.16 数表 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる(技能、判断力) 	<p>①A 数と計算 エ (ア) イ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(No.14) (No.15)</p>

後期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。 ・数量について粘り強く表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度を養う。 			
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.15 足し算の工夫 ・No.16 数表 ・No.17 おつりの計算 ・No.18 引き算の筆算 ・No.19 2進法 ・No.20 面積図 ・No.21 グリッド法 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる(技能、判断力) 	<p>①A 数と計算 エ (ア) イ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(No.17) (No.18)</p> <p>②A 数と計算 ア (イ) ア 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No.17)</p>
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.22 掛け算の筆算 ・No.23 格子法 ・No.24 割り算の筆算 ・No.25 分数の足し算引き算 ・No.26 分数の掛け算割り算 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる(技能、判断力) 	<p>①A 数と計算 オ (ア) イ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。(No.22)</p> <p>カ (ア) イ 除法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。(No.24)</p> <p>ケ (ア) ウ 簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知ること。(No.25)</p> <p>②A 数と計算 ア (イ) ア 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No.22) (No.24)</p> <p>ウ (ア) ア 異分母の分数の加法及び減法の計算ができること。(No.25)</p>

12月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.27 百分率 ・No.28 増減と百分率 ・No.29 消費税 ・No.30 どちらが得か比べる ・確認テスト ・確認テストの解答と解説 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる（技能、判断力） ・増減を百分率で表わすことができる（知識、技能） 	<p>①C 変化と関係</p> <p>ウ（ア）イ 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。（No.27）（No.28）</p> <p>②</p> <p>A 数と計算</p> <p>エ（ア）ア 乗数や除数が整数や分数である場合も含めて、分数の乗法及び除法の意味について理解すること。（No.26）</p> <p>イ 分数の乗法及び除法の計算ができること。（No.26）</p>
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.31 まとめ買い ・No.32 平均 ・No.33 大きな数字 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる（技能、判断力） ・消費税の計算ができる（知識、技能） ・どちらが得か比べる方法を知る（知識） ・平均を理解し、平均を出すことができる（知識、技能） 	<p>①D データの活用</p> <p>イ（ア）ア 平均の意味や求め方を理解すること。（No.32）</p>
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.34 半端な値段 ・No.35 グラフ ・No.36 表やグラフにまとめる ・No.37 お金 ・No.38 おこづかい、お礼 ・No.39 硬貨、紙幣 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる（技能、判断力） ・グラフの見方を知る（知識） ・表やグラフにまとめることができる（技能、表現力） 	<p>①D データの活用</p> <p>ア（ア）ア 数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすること。（No.35）（No.36）</p> <p>イ 円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解すること。（No.35）（No.36）</p> <p>②D データの活用</p> <p>ア（ア）ウ 目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解すること。（No.35）（No.36）</p> <p>①〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.37）（No.38）（No.39）</p> <p>②〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.37）（No.38）（No.39）</p> <p>③〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.37）（No.38）（No.39）</p>
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.40 外国のお金 ・No.40 お金 ・No.41 おこづかい、お礼 ・No.42 硬貨、紙幣 ・No.43 外国のお金 ・まとめ 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる（技能、判断力） ・お金について見識を広げることができる（知識） 	<p>①〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.40）</p> <p>②〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.40）</p> <p>③〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.40）（No.41）（No.42）（No.43）</p>
年間予定時数		64		

シラバス

令和7年度		2学年		数学B
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数量やグラフなどについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解する。 ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力を養う。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 			
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。 ・数量について粘り強く表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 			
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・実力テストの解答と解説 ・No.35 斜線 ・4月の内容の確認テスト 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な四則計算の方法を理解し筆算ができる(知識、技能) ・重量と質量について知る(知識) ・斜線や対角線の意味を知る。(知識) ・平行線の意味を知り、平行線を表す記号を知る。(知識) ・垂線の意味を知り、直角を表す記号を知る。(知識、思考力) 	①B 図形 ア (イ) ア図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。(No.35) [数学的活動] ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.35、36、37)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.3 温度 ・No.4 温度の計算 ・No.5 時間 ・No.6 年、月、週、日 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形、三角形、四角形の種類や特徴を知る。(知識) ・多角形の対角線を描くことができる。(思考力、表現力) ・コンパスの使い方を知り、円を描くことができる。(知識、技能) ・基本的な四則計算の方法を理解し筆算や速さの計算ができる(知識、技能) 	①B 図形 イ (ア) イ直方体に関して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解すること。(No.36、37) [数学的活動] ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.36、37) ア (ア) ア平行四辺形、ひし形、台形について知ること。(No.38) ア (ア) イ図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解すること。(No.38) ア (ア) ウ三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。(No.38、39) ア (オ) 円周率の意味について理解し、それをを用いること。(No.40) ②B 図形 ア (ア) エ円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ること。(No.39) [数学的活動] ア (ア) 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動(No.38、39、40)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.7 時間の計算 ・No.8 速さの計算 ・No.9 速さの計算2 ・No.10 身の回りの数字 ・No.11 四則計算の使い方 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な四則計算の方法を理解し筆算や速さの計算ができる(知識、技能) 	①A 数と計算 エ (ア) イ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(No.4) ②A 数と計算 ア (イ) ア 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No.4)

7月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.12 計算の順番 ・No.13 計算のきまり ・確認テスト ・確認テストの解答と解説 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な四則計算の方法を理解し筆算ができる(知識、技能) ・計算の工夫を知っておくと、便利であることを知る(知識、技能、判断力) 	<p>①A 数と計算 エ (ア) イ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(No.7) (No.8) (No.9)</p> <p>サ (ア) ア 四則に関して成り立つ性質についての理解を深めること。(No.11)</p> <p>②A 数と計算 ア (イ) ア 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No.8) (No.9) (No.11)</p> <p>①A 数と計算 コ (ア) ア 四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算すること。(No.12)</p> <p>②A 数と計算 ア (イ) ア 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No.7) (No.12)</p>
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・宿題テスト ・宿題テストの解答と解説 ・No.14 足し算の筆算 ・No.15 足し算の工夫 ・No.16 数表 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる(技能、判断力) 	<p>①A 数と計算 エ (ア) イ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(No.14) (No.15)</p>

後期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。 ・数量について粘り強く表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度を養う。 			
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.15 足し算の工夫 ・No.16 数表 ・No.17 おつりの計算 ・No.18 引き算の筆算 ・No.19 2進法 ・No.20 面積図 ・No.21 グリッド法 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる(技能、判断力) 	<p>①A 数と計算 エ (ア) イ 加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(No.17) (No.18)</p> <p>②A 数と計算 ア (イ) ア 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No.17)</p>
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.22 掛け算の筆算 ・No.23 格子法 ・No.24 割り算の筆算 ・No.25 分数の足し算引き算 ・No.26 分数の掛け算割り算 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる(技能、判断力) 	<p>①A 数と計算 オ (ア) イ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。(No.22)</p> <p>カ (ア) イ 除法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。(No.24)</p> <p>ケ (ア) ウ 簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知ること。(No.25)</p> <p>②A 数と計算 ア (イ) ア 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No.22) (No.24)</p> <p>ウ (ア) ア 異分母の分数の加法及び減法の計算ができること。(No.25)</p>

12月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.27 百分率 ・No.28 増減と百分率 ・No.29 消費税 ・No.30 どちらが得か比べる ・確認テスト ・確認テストの解答と解説・四則計算 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる（技能、判断力） ・増減を百分率で表わすことができる（知識、技能） 	<p>①C 変化と関係</p> <p>ウ（ア）イ 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。（No.27）（No.28）</p> <p>②</p> <p>A 数と計算</p> <p>エ（ア）ア 乗数や除数が整数や分数である場合も含めて、分数の乗法及び除法の意味について理解すること。（No.26）</p> <p>イ 分数の乗法及び除法の計算ができること。（No.26）</p>
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.31 まとめ買い ・No.32 平均 ・No.33 大きな数字 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる（技能、判断力） ・消費税の計算ができる（知識、技能） ・どちらが得か比べる方法を知る（知識） ・平均を理解し、平均を出すことができる（知識、技能） 	<p>①D データの活用</p> <p>イ（ア）ア 平均の意味や求め方を理解すること。（No.32）</p>
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.34 半端な値段 ・No.35 グラフ ・No.36 表やグラフにまとめる ・No.37 お金 ・No.38 おこづかい、お礼 ・No.39 硬貨、紙幣 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる（技能、判断力） ・グラフの見方を知る（知識） ・表やグラフにまとめることができる（技能、表現力） 	<p>①D データの活用</p> <p>ア（ア）ア 数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすること。（No.35）（No.36）</p> <p>イ 円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解すること。（No.35）（No.36）</p> <p>②D データの活用</p> <p>ア（ア）ウ 目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解すること。（No.35）（No.36）</p> <p>①〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.37）（No.38）（No.39）</p> <p>②〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.37）（No.38）（No.39）</p> <p>②〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.37）（No.38）（No.39）</p>
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算 ・No.40 外国のお金 ・No.40 お金 ・No.41 おこづかい、お礼 ・No.42 硬貨、紙幣 ・No.43 外国のお金 ・まとめ 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる（技能、判断力） ・お金について見識を広げることができる（知識） 	<p>①〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.40）</p> <p>②〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.40）</p> <p>②〔数学的活動〕</p> <p>ア（ア） 日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。（No.40）（No.41）（No.42）（No.43）</p>
年間予定時数		64		

シラバス

令和7年度		3 学年		数学A
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解する。 ○日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力を養う。 ○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 			
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。 ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ・目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。 			
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・No.1 貯金通帳の作り方 ・No.2 お金の貸し借り ・No.3 日常生活にかかるお金 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実に身に付け、適切に用いることができる(知識、技能、判断力) ・貯金通帳の作り方を知る(知識) ・貯金の目的を知る。(知識) ・お金の借り貸しや割り勘について考える(判断力) ・日常生活にかかるお金について知る(知識) ・節約の目的を知る(判断力) 	<p>①A数と計算</p> <p>エ(ア)イ加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(No3)</p> <p>カ(ア)ウ除法について、(被除数) = (除数) × (商) + (余り) の関係を理解すること。(No2)</p> <p>C変化と関係</p> <p>ウ(ア)イ百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。(No1)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ア)日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動 (No1.2)</p> <p>②A数と計算</p> <p>ア(イ)ア乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No2)</p> <p>オ(イ)ア問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。(No3)</p>
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・No.4 プリペイドカード、電子マネー ・No.5 クレジットカード ・No.6 多数決 ・No.7 数字を使って伝える ・No.8 数字を使って伝える2 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる(技能、判断力) ・プリペイドカード、電子マネー・クレジットカードについて知る。(思考力・判断力) ・相手にきちんと伝える。(表現力) ・相手にきちんと伝える。(表現力) ・数字を使って目標を立てる。(思考・判断力) 	<p>①A数と計算</p> <p>カ(イ)ア数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすること。(No8)</p> <p>②</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ア)日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。(No4.5,6.7.8)</p>

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・No.9 数列 ・No.10 数列と形 ・No.11 立体図形 ・No.12 角柱、展開図 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実に身に付け、適切に用いることができる (知識、技能、判断力) ・規則性を見出すことができる (思考力) ・立体図形の構造を知り、身のまわりのものとの関連を知る (知識) ・展開図から立体の予想を立てることができる (思考力) 	<p>①B図形</p> <p>イ (ア) ア立方体、直方体について知ること。(No11)</p> <p>イ (ア) ウ見取図、展開図について知ること。(No12)</p> <p>イ (ア) エ基本的な角柱や円柱について知ること。(No12)</p> <p>イ (イ) ア図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。(No11)</p> <p>②A数と計算</p> <p>オ (イ) ア問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。(No9)</p> <p>B図形</p> <p>ア(イ) ア図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすること。(No11)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア (ウ) 問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動。(No10)</p>
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・No.13 角度 ・No.14 角度の種類 ・No.15 直線上の角度、一点で接する角度 ・No.16 分度器 ・4月から7月の内容の確認テスト 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・角度、直角を知る。(知識) ・分度器を使って角度が描ける。(知識・技能) 	<p>①B図形</p> <p>ア (イ) イ図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりする。(No16)</p> <p>ウ (ア)アものの位置の表し方について理解すること。(No13.14)</p> <p>ウ(イ) ア平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。(No13.14)</p> <p>②B図形</p> <p>ア(イ) ア図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすること。(No15)</p>
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・No17 対頂角 ・No18 三角形の内角 ・No19 三角形の内角の計算 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・対頂角の性質を使うことができる (思考力) ・三角形の種類と特徴を覚える (知識) ・三角形が建物に利用されている理由を知る (知識) 	<p>②B図形</p> <p>ア(イ) ア図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすること。(No17)</p> <p>イ (イ) ア図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。(No18,19)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ア) 日常の現象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。(No18, 19)</p>

後期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。 ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ・目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。 			
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・No20 四角形の内角の計算 ・No21 多角形の内角の計算 ・No22 座標 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・四角形の内角の性質を使うことができる。(思考力) ・2つの方法で多角形の内角の合計を求めることができる。(知識・技能) ・座標を使って、場所を探すことができる。(知識・技能) ・座標を求めることができる。(知識) 	<p>①B図形</p> <p>ア(ア) 平行四辺形、ひし形、台形について知ること。 (No20) ア(ア) 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。(No20)</p> <p>ウ(ア) アものの位置の表し方について理解すること。 (No22)</p> <p>ウ(イ) ア平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。(No22) [数学的活動]</p> <p>ア(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動。(No20)</p>
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・No23 正負の座標 ・No24 方位磁針の方位 ・No25 線対称 ・No26 点対称 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・方位磁針は、場所を探したり、特定の方向に移動するのに使う道具であることを知る。(知識・技能・思考力) ・鏡で反射する光と対称の図形について知る。(知識・技能・思考力) ・身のまわりにある対称な物について知る。(知識・技能・思考力) ・座標を使って、場所を探すことができる。(知識・技能) ・座標を求めることができる。(知識) ・座標を使って、図形を描くことができる。(技能) 	<p>①B図形</p> <p>ウ(ア) アものの位置の表し方について理解すること。 (No23,24,25,26)</p> <p>ウ(イ) ア平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。 (No.23,24,25,26)</p> <p>②B図形</p> <p>ア(ア) イ対称な図形について理解すること。(No24,25,26) [数学的活動]</p> <p>ア(ア) 日常の現象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。(No24,25,26)</p>
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・No27 反射 ・No28 回転 ・No29 平行移動 ・No30 方程式 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で見られる反射の現象としくみについて知る。(思考力) ・回転模様を考える。(思考力) ・モザイク模様を考える。(表現力) ・数の代わりに文字や記号を使って数の性質やつながりを考える。(思考力・表現力) 	<p>①B図形</p> <p>ウ(ア) アものの位置の表し方について理解すること。 (No28,29)</p> <p>ウ(イ) ア平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。 (No28,29)</p> <p>②A数と計算</p> <p>オ(ア) ア数量を表わす言葉や□、△などの代わりに、a、xなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。(No30) [数学的活動]</p> <p>ア(ア) 日常の現象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。(No27)</p>

1月	<ul style="list-style-type: none"> ・No31 方程式の解き方 ・No32 確率 ・No33 確率の計算 ・No34 公式と数列 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・数の代わりに文字や記号を使って数の性質やつながりを考える。(思考力・表現力) ・降水確率の意味を知る。(知識・思考力) ・公式を使って確率を計算できる。(知識・技能) ・公式という便利なルールを使えば数学の問題が簡単に解けるようになることを知る。(学びに向かう力) <p>①A数と計算 オ(ア) ア数量を表わす言葉や\square、\triangleなどの代わりに、a、xなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。(No31)</p> <p>②Dデータの活用 イ(イ) ア事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察すること。(No33) 〔数学的活動〕 ア(ア) 日常の現象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。(No32) ア(ウ) 問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動。(No34)</p>
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・No35 データ処理 ・No36 ベン図 ・No37 平均、平均値 	6	<p>①Dデータの活用 ア(ア) ウデータの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ること。(No35) ア(イ) ア目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉えて考察すること。(No35) イ(ア) ア平均の意味や求め方を理解すること。(No37) イ(イ) ア概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすこと。(No37)</p> <p>② Dデータの活用 ア(ア) ア代表値の意味や求め方を理解すること。(No37) 〔数学的活動〕 ア(ウ) 問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動。(No36)</p>
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・No38 中央値 ・No39 最頻値 	2	<p>Dデータの活用 ア(ア) ア代表値の意味や求め方を理解すること。(No38.39)</p>
年間予定時数		63	

シラバス

令和7年度		3 学年		数学B	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解する。 ○日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力を養う。 ○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 				
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。 ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度を養う。 ・目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して、表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。 				
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・No.1 貯金通帳の作り方 ・No.2 お金の貸し借り ・No.3 日常生活にかかるお金 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実に身に付け、適切に用いることができる(知識、技能、判断力) ・貯金通帳の作り方を知る(知識) ・貯金の目的を知る。(知識) ・お金の借り貸しや割り勘について考える(判断力) ・日常生活にかかるお金について知る(知識) ・節約の目的を知る(判断力) 	<p>①A数と計算</p> <p>エ(ア)イ加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いること。(No3)</p> <p>カ(ア)ウ除法について、(被除数) = (除数) × (商) + (余り) の関係を理解すること。(No2)</p> <p>C変化と関係</p> <p>ウ(ア)イ百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。(No1)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ア)日常の事象から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、日常生活等に生かしたりする活動 (No1.2)</p> <p>②A数と計算</p> <p>ア(イ)ア乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。(No2)</p> <p>オ(イ)ア問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。(No3)</p>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・No.4 プリペイドカード、電子マネー ・No.5 クレジットカード ・No.6 多数決 ・No.7 数字を使って伝える ・No.8 数字を使って伝える2 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実にできるようにし、それらを適切に用いることができる(技能、判断力) ・プリペイドカード、電子マネー・クレジットカードについて知る。(思考力・判断力) ・相手にきちんと伝える。(表現力) ・相手にきちんと伝える。(表現力) ・数字を使って目標を立てる。(思考・判断力) 	<p>①A数と計算</p> <p>カ(イ)ア数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすること。(No8)</p> <p>②</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ア)日常の事象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。(No4.5,6.7.8)</p>	

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・No.9 数列 ・No.10 数列と形 ・No.11 立体図形 ・No.12 角柱、展開図 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法、乗法及び除法の計算を確実に身に付け、適切に用いることができる (知識、技能、判断力) ・規則性を見出すことができる (思考力) ・立体図形の構造を知り、身のまわりのものとの関連を知る (知識) ・展開図から立体の予想を立てることができる (思考力) 	<p>①B図形</p> <p>イ (ア) ア立方体、直方体について知ること。(No11)</p> <p>イ (ア) ウ見取図、展開図について知ること。(No12)</p> <p>イ (ア) エ基本的な角柱や円柱について知ること。(No12)</p> <p>イ (イ) ア図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。(No11)</p> <p>②A数と計算</p> <p>オ (イ) ア問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。(No9)</p> <p>B図形</p> <p>ア(イ) ア図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすること。(No11)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア (ウ) 問題解決の過程や結果を、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動。(No10)</p>
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・No.13 角度 ・No.14 角度の種類 ・No.15 直線上の角度、一点で接する角度 ・No.16 分度器 ・4月から7月の内容の確認テスト 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・角度、直角を知る。(知識) ・分度器を使って角度が描ける。(知識・技能) 	<p>①B図形</p> <p>ア (イ) イ図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりする。(No16)</p> <p>ウ (ア)アものの位置の表し方について理解すること。(No13.14)</p> <p>ウ(イ) ア平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。(No13.14)</p> <p>②B図形</p> <p>ア(イ) ア図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすること。(No15)</p>
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・No17 対頂角 ・No18 三角形の内角 ・No19 三角形の内角の計算 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・対頂角の性質を使うことができる (思考力) ・三角形の種類と特徴を覚える (知識) ・三角形が建物に利用されている理由を知る (知識) 	<p>②B図形</p> <p>ア(イ) ア図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすること。(No17)</p> <p>イ (イ) ア図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。(No18,19)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ア) 日常の現象を数理的に捉え、問題を見いだして快活氏、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。(No18, 19)</p>

後期目標	<p>・整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数及び分数の計算について理解し、それらを計算する技能を身に付けるようにする。</p> <p>・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>			
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点	学習指導要領の目標 ①は第1段階 ②は第2段階
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・No20 四角形の内角の計算 ・No21 多角形の内角の計算 ・No22 座標 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・四角形の内角の性質を使うことができる。(思考力) ・2つの方法で多角形の内角の合計を求めることができる。(知識・技能) ・座標を使って、場所を探すことができる。(知識・技能) ・座標を求めることができる。(知識) 	<p>①B図形</p> <p>ア(ア) ア平行四辺形、ひし形、台形について知ること。 (No20) ア(ア) ウ三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。(No20)</p> <p>ウ(ア) アものの位置の表し方について理解すること。 (No22)</p> <p>ウ(イ) ア平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。(No22)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(イ) 数学の学習場面から数学の問題を見いだして解決し、結果を確かめたり、発展的に考察したりする活動。(No20)</p>
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・No23 正負の座標 ・No24 方位磁針の方位 ・No25 線対称 ・No26 点対称 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・方位磁針は、場所を探したり、特定の方角に移動するのに使う道具であることを知る。(知識・技能・思考力) ・鏡で反射する光と対称の図形について知る。(知識・技能・思考力) ・身のまわりにある対称な物について知る。(知識・技能・思考力) ・座標を使って、場所を探すことができる。(知識・技能) ・座標を求めることができる。(知識) ・座標を使って、図形を描くことができる。(技能) 	<p>①B図形</p> <p>ウ(ア) アものの位置の表し方について理解すること。 (No23,24,25,26)</p> <p>ウ(イ) ア平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。 (No.23,24,25,26)</p> <p>②B図形</p> <p>ア(ア) イ対称な図形について理解すること。(No24,25,26)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ア) 日常の現象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。(No24,25,26)</p>
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・No27 反射 ・No28 回転 ・No29 平行移動 ・No30 方程式 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で見られる反射の現象としくみについて知る。(思考力) ・回転模様を考える。(思考力) ・モザイク模様を考える。(表現力) ・数の代わりに文字や記号を使って数の性質やつながりを考える。(思考力・表現力) 	<p>①B図形</p> <p>ウ(ア) アものの位置の表し方について理解すること。 (No28,29)</p> <p>ウ(イ) ア平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察すること。 (No28,29)</p> <p>②A数と計算</p> <p>オ(ア) ア数量を表わす言葉や□、△などの代わりに、a、xなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。(No30)</p> <p>[数学的活動]</p> <p>ア(ア) 日常の現象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。(No27)</p>

1月	<ul style="list-style-type: none"> ・No31 方程式の解き方 ・No32 確率 ・No33 確率の計算 ・No34 公式と数列 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・数の代わりに文字や記号を使って数の性質やつながりを考える。(思考力・表現力) ・降水確率の意味を知る。(知識・思考力) ・公式を使って確率を計算できる。(知識・技能) ・公式という便利なルールを使えば数学の問題が簡単に解けるようになることを知る。(学びに向かう力) <p>①A数と計算 オ(ア) ア数量を表わす言葉や\square、\triangleなどの代わりに、a、xなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。(No31)</p> <p>②Dデータの活用 イ(イ) ア事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察すること。(No33) 〔数学的活動〕 ア(ア) 日常の現象を数理的に捉え、問題を見いだして解決し、解決過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活等に生かしたりする活動。(No32) ア(ウ) 問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動。(No34)</p>
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・No35 データ処理 ・No36 ベン図 ・No37 平均、平均値 	5	<p>①Dデータの活用 ア(ア) ウデータの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ること。(No35) ア(イ) ア目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉えて考察すること。(No35) イ(ア) ア平均の意味や求め方を理解すること。(No37) イ(イ) ア概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすこと。(No37)</p> <p>② Dデータの活用 ア(ア) ア代表値の意味や求め方を理解すること。(No37) 〔数学的活動〕 ア(ウ) 問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う活動。(No36)</p>
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・No38 中央値 ・No39 最頻値 	2	<p>Dデータの活用 ア(ア) ア代表値の意味や求め方を理解すること。(No38.39)</p>
年間予定時数		63	